

2020 年度 1 年次対象学生調査の結果報告

—過年度との比較—

グローバル教育支援機構

大学教育支援部門

1. はじめに

本学では学士課程に在学する学生の学習行動や授業経験等を把握し教育改善に資する情報として活用するため、例年 10 月に学生を対象とした質問紙調査（大学 IR コンソーシアム共通調査の質問項目を含む）を実施している。本報告はこのうち 1 年次を対象とした 3 年分の調査結果を比較し、コロナ禍の影響を報告するものだ。回答者数は 2018 年度 1,164 名、2019 年度 1,288 名、2020 年度 1,275 名、回収率は 8 割弱だった。回答いただいた学生の皆さんに感謝申し上げます。

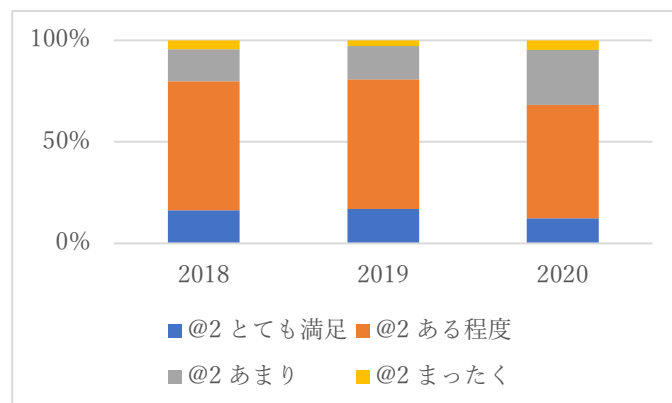


図 2 専門教育への満足度

2. 本学教育に対する満足度

共通教育（図 1）も専門教育（図 2）も 2 過年度と比べて満足度は低下した。学内別調査から判明している不満要因は、提出した課題に対する教員からのフィードバック不足と過度な課題負担であった。本報告でもこうした傾向がうかがえるのか、結果を確認している。

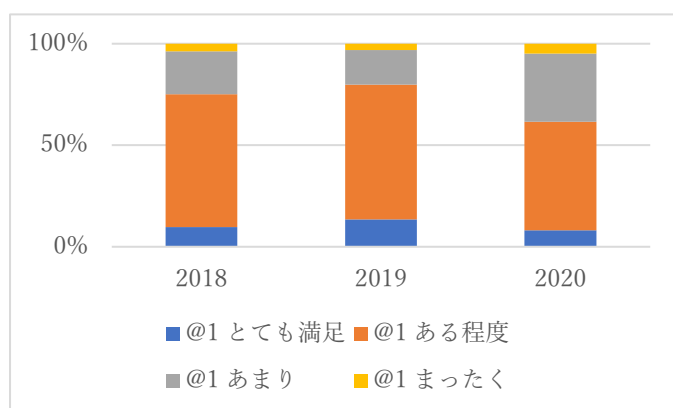


図 1 共通教育への満足度

3. 授業での経験

予想された通り、実験、実習、フィールドワークなどの体験的な学習（図 3）や学生間での議論（図 6）は減っていた。小テストやレポートが課される機会は増えていたが（図 4）、教員からのフィードバックを得る機会は過年度と変わらぬ頻度だった（図 5）点に問題がうかがえる。

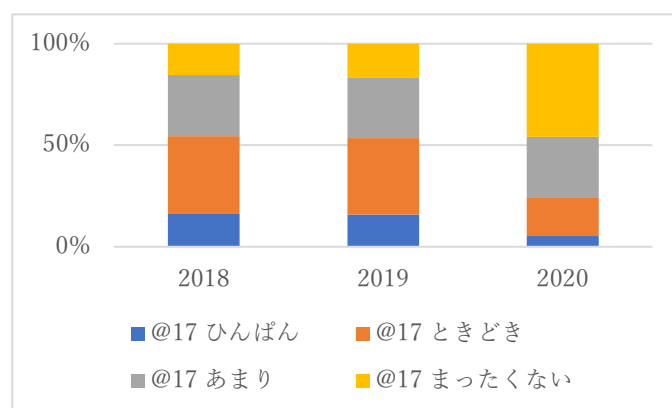


図 3 実験など体験的に学ぶ

用した頻度は減ってしまった(図10)。もっとも、以前から学習支援の利用は必ずしも活発ではなかった。

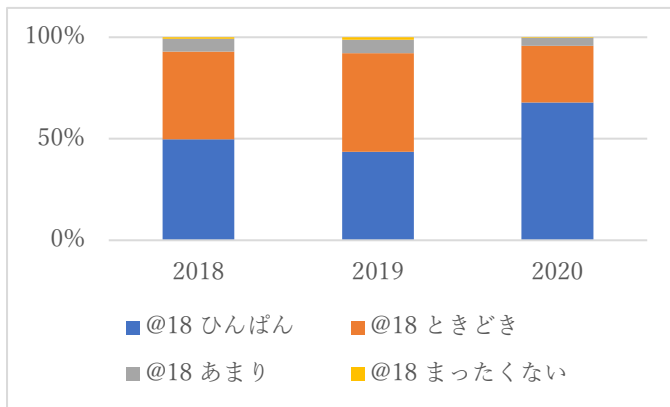


図 4 定期的に小テストやレポートが課される

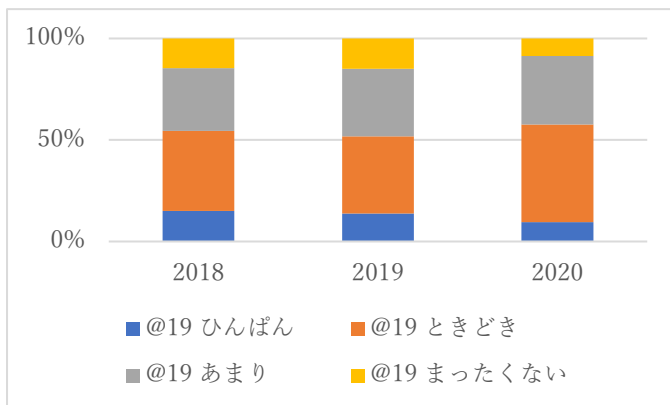


図 5 教員が提出物にコメントをつける

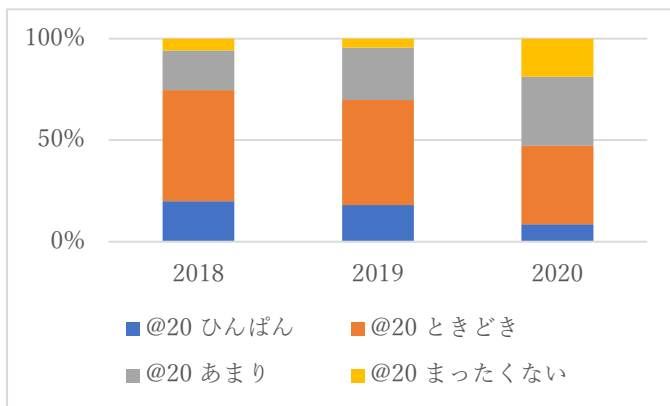


図 6 学生同士が議論をする

4. 学習経験

予想された通り授業課題のための図書館利用頻度が減り(図7)、Web上の情報を利用する頻度が高くなった(図8)。授業欠席が減ったのは遠隔対応により教室に集合する労力が減ったことの効用だが(図9)、教職員への学習相談といった学習支援サービスを利用した頻度は減ってしまった(図10)。もっとも、以前から学習支援の利用は必ずしも活発ではなかった。

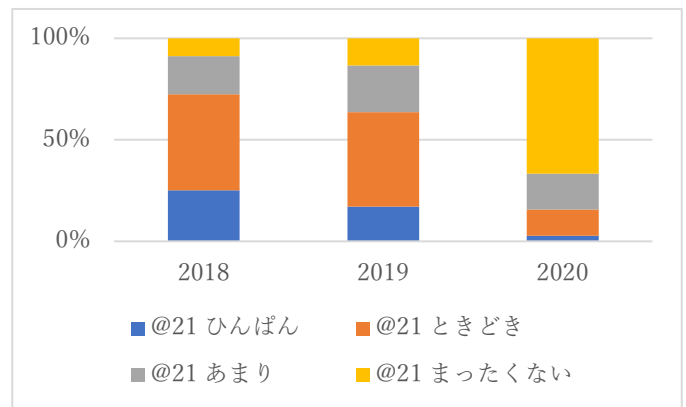


図 7 図書館利用

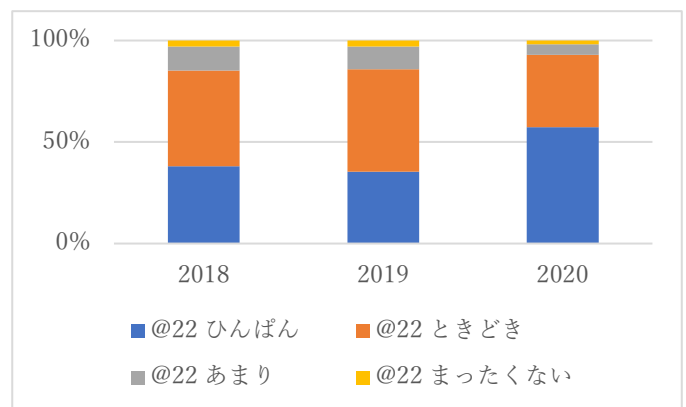


図 8 授業課題のため Web 利用

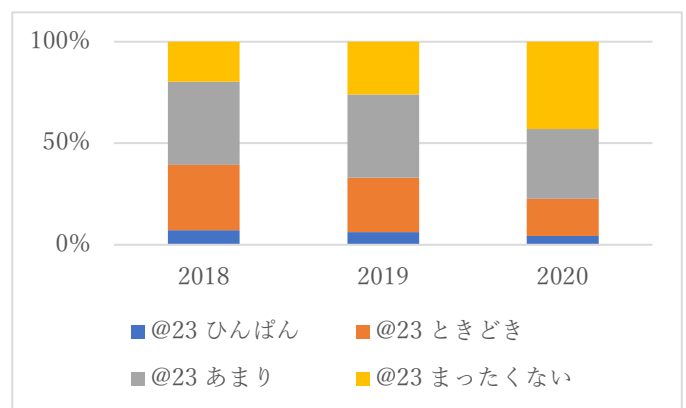


図 9 授業欠席

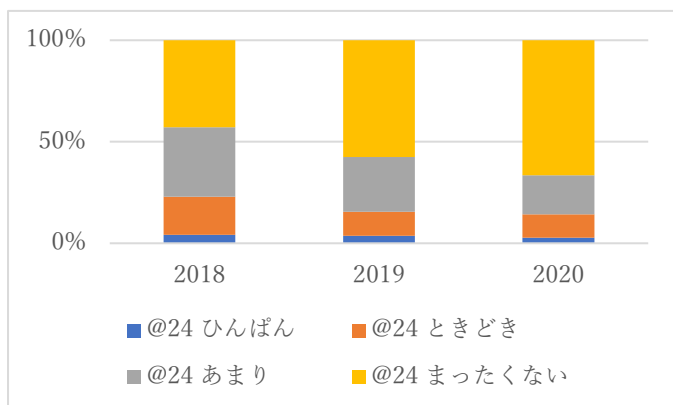


図 10 学習支援を受けた

5. 1 週間の活動時間

遠隔授業によって授業を受ける時間が減り学習時間全体も減ってしまったのか、あるいは、課題負担が増えることで学習時間は増加したのだろうか。授業に出る時間、および授業時間外に予復習をする時間を合わせた平均値をみると、過年度と比べて過不足はないことが分かった。けれども、その内訳（ただし、各活動時間の上限は 20 時間として算出）をみると、授業に出た時間の平均値が 3 時間ほど過年度よりも減少したのに対して、授業時間外の予復習の平均値は 2 時間半ほど増えるとともに、ばらつきも大きくなっていった（表 1）。

表 1 1 週間の学習時間

		平均値	標準偏差
授業, 授業課題, 予復習	2018	17.83	9.007
	2019	17.46	8.584
	2020	16.81	10.205
	合計	17.34	9.312
授業	2018	13.35	6.329
	2019	13.33	6.305
	2020	9.95	6.280
	合計	12.15	6.506
授業課題, 予復習	2018	4.49	4.643
	2019	4.15	4.373
	2020	6.89	5.859
	合計	5.21	5.167

その他の活動時間をみると（表 2）、教員と面談、部活動や同好会、およびアルバイト・仕事の時間が減少

し、趣味活動の時間が増加していた。

表 2 その他の活動時間

		平均値	標準偏差
授業に関連しない学習	2018	2.19	4.027
	2019	2.00	3.733
	2020	2.13	3.723
	合計	2.10	3.820
教員と面談	2018	0.83	2.815
	2019	0.75	2.718
	2020	0.31	1.424
	合計	0.62	2.392
部活動や同好会	2018	3.09	4.888
	2019	2.99	4.977
	2020	1.61	3.686
	合計	2.54	4.588
アルバイト, 仕事	2018	6.90	7.378
	2019	7.35	7.409
	2020	6.13	7.114
	合計	6.78	7.314
読書（マンガ除く）	2018	2.01	3.834
	2019	1.84	3.660
	2020	1.67	3.368
	合計	1.83	3.616
趣味活動	2018	6.59	6.214
	2019	7.02	6.466
	2020	7.76	6.449
	合計	7.15	6.402

6. おわりに

体験的学習や学生同士の議論の機会は授業において減少した。対面授業の減少を補うために課題は頻繁に課せられ、授業時間外の学習時間は増加した。授業時間が減少したため総学習時間は過年度並みとなったが、時間数にみる以上に授業時間外の学習は負担であったかもしれない。課題への教員からのフィードバックは過年度と同じ程度にとどまったからだ。

すでにこうした問題点は本学において共有され、緊急対応に終始せざるを得なかった前学期とは異なり、集合対面授業の再開、Web 会議システムの積極的活用、および学生へのフィードバック強化が後学期から図られている。今般の結果を戒めとして次回結果の回復を期したい。